

くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごと、誰に相談したらいいか、どこに相談したらいいか、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ

健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

# 友の会だより

中野共立友の会・広報委員会発行  
〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール：a\_nozawa@kenyu-kai.or.jp  
Tel:03-3386-9139



第5回

9 / 16 (水) ~ 20 (日)

## 共立健康まつり

第5回共立健康まつりは今年も地域の氷川神社例大祭に合わせて開催しました。9月19日(土)は、伊藤副院長による今、話題の「新型インフルエンザ」の学習会。20日(日)は大人気の骨密度測定、その他体脂肪測定、健康相談、看護師体験、恒例の餅つき、模擬店や囲碁将棋大会、演芸など職員と友の会による多彩な催し、また地域の諸団体も出店があり約500人の来場で活気に溢れたおまつりでした。



打越町会お神輿



餅つき

手作りのカレーパン、240個完売。夜勤明けの看護師と家族、友人達が裏方でがんばりました。来年もご期待ください。

山本先生、がんばって



カレーパン・焼そば・チョコバナナなど模擬店

作っても作っても追いつかず、200食完売しました。



骨密度・体脂肪測定

いい数値でうらやましい!



手作りのお赤飯、コーヒーに紅茶、お豆腐屋さんの出来たておからドーナツなど大人気。

中野を離れて7年。みなさんに親切に声をかけてもらい実家に帰ってきたようでした。まつりは職員と友の会と一緒にやっている雰囲気がよく伝わってきました。囲碁大会は楽しくやらせていただきましたがなかなか強くなれませんネ。

太極拳デモンストレーション

サツマイモがとても美味しかったと言われました。来年は蒸かして販売します。国産の梅干200円、去年は飛ぶように売れたのに今年はちょっと・・・午後から陽射しが強くなり場所の移動をお願いしたら、職員の方が快く場所を譲ってください感謝しています。



新婦人の産直野菜と化粧品販売



囲碁将棋大会



友の会喫茶コーナー

協力借入金(年利1.5%)地域の医療・介護に貢献する活動を進めるため、ご協力ください。

インフルエンザ予防接種は友の会員特別価格、2625円のところ2200円で受けられます。

お友達を紹介ください



## 友の会の

10月~12月  
仲間増やし月間

輪

回して下を

# お茶会



## 思い出の歌 ありがとう

毎月第3金曜日の午後、中野共立病院の3階回復期リハビリ病棟ではお茶会を開いています。職員やボランティアの方が患者さんに好きな飲物を聞いてお出しし、ボランティア

によるお楽しみ会の演芸が披露されます。9月18日は共立友の会の伝統あるコーラスサークル「花水木」のみなさんに来ていただきました。食堂に大勢の患者さんやご家族の方々が集まり、歌を一緒に歌ったり、笑いあ



いながら軽い体操をしました。懐かしい歌を大きな声で歌う方、涙を流す方、その姿を見て嬉しそうにしている家族の方々に、ボランティアも熱が入り一生懸命でした。

患者さんから「とても楽しかった、ありがとう」「また、よろしくお願いします」と声がかかりました。入院は治療が目的、生活も単調になりがちですが、少しでも喜んでいただけるようにと



他の演芸ボランティアの方々も出番を待っています。

# 職場紹介

## こんにちは 3階病棟です

3階病棟は2008年11月より回復期リハビリテーション病棟になりました。

回復期リハビリテーション病棟とは脳血管障害、大腿骨頸部骨折などの手術後に集中的にリハビリを行なう病棟です。回復期リハビリテーション病棟の入院には厚労省で決められたルールがあります。基本的に病気を発症してから2ヶ月以内の方入院期間は病名によ

て異なりますが最大6ヶ月、自

宅復帰を目標とする方が対象です。

病気発症後、早い時期から集中的に、毎日リハビリを行う事ができますので、回復の度合いは様々ですが、たくさんのお患者様が元気に自宅へ帰ることができています。

## 共立病院3階病棟

看護師長 原 由絵



原師長(左)とスタッフのみなさん

食事もりハビリの一部ですので食堂にみなさんが集まって食事をし、特に女性のテンプルはいつもにぎやかです。毎日昼食の前には、嚥下体操などを行ない、午後からは、レクレ

また、全く歩行が出来なかった方が、装具を着けて歩けるようになるまで、患者様同士の助け合い、励ましあいが助けあい、励ましあいつながりハビリを続けています。スタッフはいつも応援しています。患者様同士の助け合いは決して楽ではないリハビリの継続にとっても大きな力になっています。入院生活すべてがリハビリです。私たちスタッフも色々な工夫をして退院後、その人がその人らしく過ごせるように援助していきたくて考えています。

# 医療の質を評価する指標

医師 伊藤 浩一 (中野共立診療所所長)



医療の質の測定は単純ではありません

医療の質はどのような測れるでしょうか。

受診する側からみて、どんな時に、受ける医療の質が高いと思うでしょうか。受診して満足したかどうかは指標になるかもしれませんが、しかし、満足度調査では7-8割が満足と応えるのが普通で、鋭敏な指標ではなさそうです。医療を提供する側は、どんな時に、例えば3

質を評価する標準はありません

年より、質の高い医療を提供していると言えるでしょうか。医療事故が減っていれば、指標になるかもしれませんが。

1960年代にドナベディアンという米国の学者が提唱した、医療の構造、過程、結果について評価するモデルは今も生きています。

指標を設定して評価する取組みを始めました

医療費抑制の政策も問題があったという認識もこの数年で当たり前になりました。OECD諸国の医師数は、人口1000人あたり3人ですが、日本では2人で、医師不足が根底にある問題の一つだと考えられるようになりました。医師が1.5倍増えて、診療時間が1.5倍になると、受診する側も提供する側も、質があがったと思うかもしれません。

聖路加国際病院では質の指標を公表する試み始めて注目されています。中野共立診療所でも、質を反映しそうな抽出し易い指標を設定し、評価する取組みを始めたところですので、公表できるものにしていきたくて考えています。

提供する医療の質を評価することはなかなか単純ではありません。クオリティ

が、取り組みは徐々に蓄積されてます。

共立病院・共立診療所の道案内の看板が つきました



早稲田通りの南側、割烹「田原坂」についての看板



三番街とふれあいロード角「請島ビル」についての看板  
大浜様、請島様ご協力ありがとうございました。